

藤沢市地球温暖化対策に 関するアンケート調査のお願い

市民の皆様には、日頃より市政運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

藤沢市では、将来にわたって持続可能な社会を構築するため、2022 年（令和 4 年）3 月に「藤沢市地球温暖化対策実行計画」を改定し、市民、事業者との協働と連携を図りながら、地球温暖化対策にかかる施策・事業を推進しております。このたび、3 年が経過し昨今の国内外の社会的情勢の変化を踏まえ、より実効性のある計画とするために、計画内容の見直しを行うことといたしました。

このアンケートは、皆様が地球温暖化対策について日頃感じられていることやご意見などをお聞きし、計画見直しの参考にさせていただくため、市内にお住まいの 3,000 名の方を無作為に抽出してアンケート調査のご協力をお願いするものです。

ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、アンケート調査項目をご確認のうえ、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査票に記入された内容についてはすべて無記名データとして統計処理いたしますので、個人の情報を公表することはございません。また、ご回答いただきました内容は、本調査の目的以外に使用することはありません。

2025 年（令和 7 年）6 月

藤沢市長 鈴木 恒夫

◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和 7 年 6 月 26 日（木）までにご投函ください。

※アンケート調査の所要時間は約●●分程（全●●問）です。

◎アンケート調査票及び返信用封筒に**氏名・住所をご記入いただく必要はありません。**

（返信用封筒のバーコードは、郵便手続のためのもので、個人を特定するものではありません。）

【問い合わせ先】藤沢市 環境部 ゼロカーボン推進課

電話：0466-25-1111 （月曜日～金曜日※祝日除く 午前 8 時 30 分～午後 5 時）

※パソコン・スマートフォンから、インターネットで回答できます。

<https://forms.gle/URLイメージKFF1UJWxc8y1U7>

1. パソコンからは、ブラウザ URL 欄に上記の URL を入力してアクセスできます。
2. スマートフォンからは、右記の二次元コードを読み取ってアクセスできます。
3. 回答の際は、右上にある整理番号（5 桁）を入力してください。

※整理番号は、郵送・インターネットの重複回答を避けるためのもので、個人が特定されることはありません。

4. インターネットで回答をしていただきましたら、調査票の返送は必要ありません。



（スマートフォン用）

問1 あなたご自身のことについてお尋ねします。当てはまる番号を○で囲んでください。
(それぞれ1つ選択)

項目	選択肢
性別	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない
年代	1. 10～20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70代以上
居住地域	1. 片瀬地区 2. 鵜沼地区 3. 辻堂地区 4. 村岡地区 5. 藤沢地区 6. 明治地区 7. 善行地区 8. 湘南大庭地区 9. 六会地区 10. 湘南台地区 11. 遠藤地区 12. 長後地区 13. 御所見地区 14. わからない
ライフ スタイル	1. 単身 2. 夫婦のみ 3. 2世代 4. 3世代 5. その他 () 1. 共働き世帯 2. 夫婦のどちらかのみ働いている 3. 世帯に働いているものがいない 4. 単身世帯のため該当しない 5. その他 () 1. ペットを飼っている 2. ペットを飼っていない
居住	1. 一戸建て(持ち家) 2. 一戸建て(借家) 3. 賃貸アパート 4. 分譲マンション 5. 賃貸マンション 6. その他 () 1. 3年未満 2. 3年以上6年未満 3. 6年以上11年未満 4. 11年以上16年未満 5. 16年以上21年未満 6. 21年以上

問2 藤沢市の地球温暖化対策に関する各項目について重要度・現時点の満足度についてお尋ねします。
最もあてはまる番号を 1つ選んで ○で囲んでください。

項 目	重要度					満足度				
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
(例) それぞれ該当する番号を○で囲む→	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
1 学校や地域、事業所などあらゆる社会の中で、環境教育・環境学習が推進され、環境を意識した行動が広がっている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 より多くの市民・事業者が環境への関心と意識を高く持つことで、さまざまな環境保全活動と環境美化活動が展開されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 地球温暖化対策について、市民・事業者・行政の力を活かした地域からの行動が進められている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 エネルギーの地産地消を見据えた太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

重要度・満足度 項 目	重要度					満足度				
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
(例) それぞれ該当する番号を○で囲む→	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
5 環境に優しい都市システムによる脱炭素社会が創造されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 公園や緑地など新たに緑が創出され、潤いのある生活環境が確保されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 豊かな自然環境の保全に向けて、身近な緑が保全・再生されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 安全・安心な食を身近で確保するための地産地消が実践されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 エコバッグの活用や、過剰梱包の防止など、プラスチックごみの削減に向けた取組が定着している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 廃棄物の発生抑制及び減量・資源化が推進され、循環型社会が形成されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 家庭における食品ロスや事業者における食品廃棄物の削減が推進されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 環境への負荷を低減し、未来へつなげる循環型社会が実現されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13 市民や事業者を牽引する行政の率先的取組が推進されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14 地球温暖化対策の取組に民間事業者を誘導する仕組みが実現されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問3 節電や省エネ対策として取り組んでいる次の各行動についてお尋ねします。最もあてはまる番号を 1つ選んで ○で囲んでください。該当する機器を保有していない等の場合は、「該当しない」に ○をつけてください。

項 目	はい	ときどき	いいえ	該当しない
① エアコンなどの冷暖房の使用は最小限を心がけている	4	3	2	1
② エアコンを使用する時は、設定温度をこまめに調節している	4	3	2	1
③ ガスファンヒーターや石油ファンヒーターを使用する時は、設定温度を低めにしている	4	3	2	1
④ 電気こたつや電気カーペットを使用する時は、設定温度を低めにしている	4	3	2	1
⑤ 人のいない部屋の照明はこまめに消している	4	3	2	1
⑥ テレビを見ていない時は消している	4	3	2	1
⑦ 使わない電気製品はプラグを抜いている	4	3	2	1
⑧ 冷蔵庫にものを詰め込みすぎないようにしている	4	3	2	1
⑨ 季節によって冷蔵庫の温度を変えている	4	3	2	1
⑩ 食器を洗うときは低温に設定している	4	3	2	1
⑪ 入浴は間隔をあけないようにしている	4	3	2	1
⑫ シャワーは不必要に流したままにしないようにしている	4	3	2	1
⑬ 「環境ポータルサイトふじさわエコ日和」の「エコライフチェック」など、節電や省エネにつながる情報を収集している。	4	3	2	1

問4 問3で「いいえ」と回答した項目が1つ以上あった方にお尋ねします。取り組めていない理由について、最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

1. 生活習慣だから変えにくい
2. 手間がかかる
3. 費用がかかる
4. 日常生活が不便になる
5. 取組を行っても効果がわからない、あるいは実感がわからない
6. どのような取組をすれば良いのか、わからない
7. その他（ ）

問5 省エネ設備や再生可能エネルギーの導入状況についてお尋ねします。最もあてはまる番号を 1つ 選んで○で囲んでください。

項 目	導入済み	導入検討中 (予定含む)	導入予定はないが、 関心はある	導入予定はなく、 関心もない
① 住宅用太陽光発電システムの導入	4	3	2	1
② 屋根や壁面、窓は、断熱性や気密性が高いものを使用	4	3	2	1
③ エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯機の導入	4	3	2	1
④ 家庭用燃料電池システム（エネファーム）の設置	4	3	2	1
⑤ 蓄電池の導入	4	3	2	1
⑥ 電力消費や待機電力の少ない家電製品への買い替え	4	3	2	1
⑦ LED など高効率照明の導入	4	3	2	1
⑧ 排出ガスが少なく燃費の良い自動車への買い替え	4	3	2	1
⑨ プラグイン・ハイブリッド・カー（PHEV）の導入※1	4	3	2	1
⑩ 電気自動車（EV）の導入	4	3	2	1
⑩ 燃料電池自動車（FCV）の導入	4	3	2	1
⑪ 屋上緑化や壁面緑化、緑のカーテンなど建物の緑化	4	3	2	1
⑫ 家庭ごみの減量のため、電動生ごみ処理機、生ごみ処理器（コンポスト容器、キエーロ等）の活用	4	3	2	1
⑬ 雨水貯留槽の設置	4	3	2	1
⑭ HEMS※2の導入	4	3	2	1
⑮ 既存住宅のZEH※3化	4	3	2	1
⑯ 再生可能エネルギー由来の電力（グリーン電力）への切替え	4	3	2	1

※1 PHEV・・・搭載したバッテリー（蓄電池）に外部から給電できるハイブリッド車のこと。

※2 HEMS・・・Home Energy Management System（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）の略。電力使用量の可視化や機器制御等、家庭内のエネルギー管理を一元的に行うシステムのこと。

※3 ZEH・・・Net Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の略。室内環境を維持しつつ大幅な省エネルギーの実現や再生可能エネルギーの導入により、年間のエネルギー収支をゼロとすることを目指した住宅のこと。

問6 問5で「導入予定はないが、関心はある」と回答した項目が1つ以上あった方にお尋ねします。取り組めていない理由について、最もあてはまる番号を 1つ選んで○で囲んでください。

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 初期費用がかかる | 2. 効果がわからない |
| 3. 借家や集合住宅のため設置できない | 4. 相談先がわからない |
| 5. その他（ | ） |

問7 藤沢市が国の重点対策加速化事業に採択されたことを知っていましたか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

1. 知っていた

2. 知らなかった

※重点対策加速化事業とは

環境省が実施する事業で、2030年度温室効果ガス排出削減目標及び2050年カーボンニュートラルの達成に向け、地域のニーズ・創意工夫を踏まえて、地域脱炭素の「重点対策」を複数年にわたって意欲的かつ加速的に実施する自治体に対し、支援（交付期間5年間）を行っています。

藤沢市では令和6年度に採択され、個人・事業者向け太陽光発電設備、蓄電池の導入や、既存住宅への断熱改修、及び事業用建物への高効率設備導入補助など民間における地球温暖化対策設備の導入支援を進めていきます。

【補助金案内チラシ】

藤沢市内に

令和7年度

お家がある方、これから建てる方限定！！

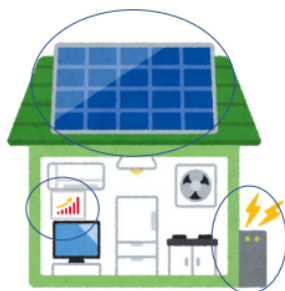
ソーラーパネル・蓄電池・HEMSの3点セット

電気代の高騰が続いている今こそ、
電気代の節約をしませんか



【モデルケース】

ソーラーパネル5kW、蓄電池12kWh、HEMSを設置した場合



昨年の1.5倍

補助金額

166.4 万円

藤沢市＋神奈川県補助を併用した場合
(※詳細は裏面をご確認ください)

設置費用339.2万円（ソーラーパネル150万円、蓄電池169.2万円、HEMS 20万円）と
仮定した場合、=自己負担率 50.9% (半額)

創って 蓄めて お得に使う

3点セットの設置に当たりましては、市内の施工事業者へご相談ください。
またはかながわ信用金庫(TEL:046-821-1709)にも相談窓口がございます。



藤沢市 ゼロカーボン推進課
0466-25-1111(内線3321)

詳しくはこちら



問7-2 地球温暖化対策に関する設備補助を活用させるためにはどうしたらよいか、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

問8 環境にやさしい都市システムの構築や循環型社会の形成につながる次の各行動についてお尋ねします。最もあてはまる番号を 1つ選んで○で囲んでください。該当する機器を保有していない等の場合は、「該当しない」に○をつけてください。

項 目	はい	ときどき	いいえ	該当しない
① マイカーの使用を控え（ノーカーデーの推進）、できるだけ公共交通機関や自転車を利用している	4	3	2	1
② エコドライブを実践している	4	3	2	1
③ ゴミゼロクリーンキャンペーンや1日清掃デー、ふじさわ環境フェアなどの市の事業に参加している	4	3	2	1
④ 「ごみ減量推進店」を積極的に利用したり、買い物にはマイバッグを持参したりしている	4	3	2	1
⑤ 外出時はマイボトルを持参している	4	3	2	1
⑥ ワンウェイプラスチック（使い捨てスプーンやフォークなど）の受け取りを断っている	4	3	2	1
⑦ リターナブル（繰り返し使用）容器の製品を選んでいる	4	3	2	1
⑧ エコマーク付き商品など、環境にやさしい製品を購入するようにしている	4	3	2	1
⑨ ごみの減量に努めている	4	3	2	1
⑩ 資源とごみを基準に従い分別している	4	3	2	1

問9 市民や事業者の温暖化対策への取り組みを促進するために、藤沢市が今後、重点的に取り組むべき事項についてお尋ねします。あてはまる番号を 3つまで選んで○で囲んでください。

1. 地球温暖化やデコ活※¹に関する情報提供・PRの充実
2. 温暖化対策に積極的に取り組んでいる市民に対するインセンティブ※²の導入
3. 温暖化対策に取り組んでいる事業所の認定制度や優遇措置の充実
4. 地球温暖化対策に関する事業を行っている事業者・団体とのマッチング支援
5. 産・民・学・官の協働による環境活動推進体制の整備
6. 建築の断熱化など省エネ性能の向上の促進
7. 事業所へのコージェネレーションシステム※³等の省エネ設備導入の促進
8. 市民・事業者・市の連携による温室効果ガス排出抑制や削減のための仕組みづくり
9. 太陽光発電設備や省エネ設備の導入
10. 再生可能エネルギー由来の電力（グリーン電力）への切替
11. 市施設への太陽光など再生可能エネルギーの積極的な活用
12. 再生可能エネルギーを面的※⁴・効率的に利用できるまちづくり

- ※1 デコ活・・・二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む“デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉で、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動のこと。
- ※2 インセンティブ・・・ポイント制度や表彰など動機付けになること。
- ※3 コージェネレーションシステム・・・ガス等を燃料として発電し、同時に発生する廃熱を冷房・暖房・給湯・蒸気などに有効利用する分散型エネルギーシステムのこと。
- ※4 エネルギーの面的利用・・・個々ではなく複数の施設・建物への効率的なエネルギーの供給等を行うこと。
- ※5 カーボンオフセット・・・事業等から排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせること。

1. 市の広報誌
2. テレビ・ラジオ
3. インターネット・メール配信
4. L I N E
5. X(旧 Twitter)
6. Facebook
7. Instagram
8. 市のポスター
9. チラシ
10. 市のホームページ
11. その他（ ）

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

※ 記入漏れがないかももう一度お確かめのうえ、回答用紙を返信用封筒に入れ、

6月26日(木) までにご投函くださいますようお願いします。